

発行：東京都新宿区西早稲田2-3-18-61

開発教育協議会事務局 Tel 03-207-8085

開発教育ワークショップ 開催します

開発教育協議会では9月22日から三日間の予定で、森林破壊を題材にした教材作りを目指す開発教育ワークショップを、千葉県佐倉市の佐倉草ぶえの丘研修センターで開きます。昨年の妙高高原における第一回ワークショップに引き続くもので、参加費は一万円。問い合わせあるいは申し込みは協議会事務局までどうぞ。

第八回研究集会 盛会でした

開発教育協議会の第八回全国研究集会は8月25,26の両日、栃木県宇都宮市の県青年会館に百六十名の参加者をえて開かれました。今年はアジアやアフリカからのアジア学院研修生が参加したり、体験学習の時間が設けられたりという新しい試みもあり、二日間、それぞれに充実した研究集会を過ごすことができました。研究集会の詳細は次号の機関誌に発表されます。

国際開発学会の「NGOと開発」分科会

今年発足した国際開発学会（事務局は東京都新宿区新宿2-16-6 ムロフ新宿ビル内国際開発高等教育機構）ではその分科会の一つに「NGOと開発」をおくことにした。現在、世界全体ではODA資金の5%ぐらいがNGOを経由するようになって見られるが、必ずしもNGO活動が理論化あるいは整理されているとはいえないので、国際開発におけるNGOの役割、開発政策における開発教育の位置づけなどを研究することを目標に設置されたものである。すでに6月から研究会を開いているが、第2回は9月27日に東京都新宿区西早稲田の早稲田奉仕園セミナーハウスで開かれる。公開研究会な

ので一般の参加を歓迎している。

郵政省が国際ボランティア貯金を創設

郵政省では利子の一部を国際的な協力に振り向ける国際ボランティア貯金を創設することになった。いわゆる普通郵便貯金の変形で、年利3%の全部あるいは一部を寄付金として預金者の委託を受けて、発展途上国を対象とする国際協力資金にしようというもので、来年の一月からスタートする。配分先は公募によって非営利の国際協力民間団体から助成希望を集め、審査の上配分しようというもの。公募の条件や審査機関、審査基準はまだ発表されていない。郵政省では初年度九億円、数年内に百五十億円ぐらいの寄付が見込めるだろうとしている。

二十世紀最後の十年 子どもと開発のための目標

9月29,30日にはニューヨークの国連本部で子どものための世界サミットが開かれるが、その事務局をになうユニセフでは、1990年代の子どもと開発の目標を次のように明らかにしている。

1) 毎年1,500万人近い子どもが五歳未満で死んでいる現状に対して、世界のすべての国で五歳未満児の死亡率を三分の一か出

生千人あたり七十のうち、どちらか低い数値に近づける。

2) 毎年50万人の女性が妊娠や出産が原因で死亡しているが、妊婦の死亡率を半分に減らす。

3) 発展途上国の五歳未満児の約40%が栄養不良である現状を、栄養不良率を半分に減らすように改める。

4) 発展途上国の子ども二人に一人はきれいな飲料水に恵まれない。衛生的な糞尿処理施設のあるところで生活している子どもはもっと少ない。それをすべての子どもがきれいな飲料水と衛生的な糞尿処理施設のある生活ができるようにする。

5) 一億人近くの学齢児が教育を受けていないので、すべての人が基礎教育を受けられるようにし、学齢期児童の80%が初等教育を修了できるようにする。

6) 成人女性の約50%、成人男性の約30%が文字の読み書きができないので、成人の非識字者を少なくとも半分にまで減らす。

7) 戦争時の最大の被害者になり、搾取や虐待の被害者でもある子どもが一層の保護を受けられるようにする。

六十万を超すアジア人労働者
イラク・クウェートに

テレビや新聞では欧米や日本のイラク、クウェート在住者の動向や人質救出作戦がしきりに論じられているが、イラクやクウェートにはかなりの数のアジア人労働者がメイドや建設その他の契約労働者として働いているが、その人たちの消息はなかなか伝わってこない。クウェートでは二百万の人口のうち半分が外国人労働者だったといわれるほどである。アジアウイークの推定によると、8月下旬現在、インド18万人、パキスタン16万人、スリランカ13万5千人、バングラデシュ8万人、フィリピン6万5千人な

どという、アジアの貧しい国からの大量の労働者がイラクとクウェートに残留している。

戦争の最大の犠牲者は女性だと言われるように、イラクのクウェート侵攻ではアジア人女性への暴行が頻発したようだ。また換金ができずからただで脱出したという話も聞こえてくる。これらの労働者は国の保護をあてにするわけにはいかない。インド政府高官は国民を救出するために空輸作戦を展開するわけにはいかないと述べたという。スリランカの当局者も同じことを述べている。理由は労働者一人をクウェートから連れ戻すのに450-USドルかかるという財政上の問題である。そしてスリランカ政府はイラクの保障を得たと言ってスリランカ人に現地に留まるよう勧告している。スリランカは国連のイラク制裁決議に組せずイラクとは正常の外交関係を保っており、その輸出の20%にもなるという紅茶のイラク輸出を継続しようとしている。

ほかの国でも事情は同じでパキスタンは国民の救出には七千万ドルかかるとしているし、フィリピンは四千万ドル以上かかるだろうと計算している。だからフィリピンは海上輸送作戦を取らざるを得ないという。フィリピンは今回のアラブ戦争で石油の値段の高騰に加えて、年間2,700万ドルにのぼっていたこれらの労働者からの送金がなくなるし、帰国労働者の職場さがしという新しい課題にぶつかっている。

もともとが外国人労働者に頼っていたガルフ湾岸の諸国であり、首長国連邦やクウェート、カタールなどでは労働人口の三分の二は外国人といわれるほどである。これらの諸国にアジア人労働者が多くなったのは70年代からのようで、イスラムでないアジア人労働者はラマダンの時も力を落とすことなく働くし、安い賃金にも不服を述べず、イスラム原理主義者たちの影響も及ばないというわけで歓迎されたようだ。

世銀の世界開発報告1990年版

世界開発報告が世界銀行から七月に発表された。現在11億以上の人間が絶対的貧困といわれる生活をおくっているが、発展途上国が貧困層の生活改善を直接に意図する政策をとり、工業国からの協力援助が増大していけば、二一世紀までにアジア地域では四億人の貧困層を減らせるだろうと予測している。しかし問題はサハラ以南のアフリカ諸国で、人口増加も激しく経済成長率の大幅な上昇も期待できないので、逆にこれからの十年間に貧困層は一億人近く増えると予測する。サハラ以南のアフリカ諸国は今でも平均寿命が五十歳で人口の半数が貧困層に属している。

いろいろな集会・講座の案内です
開催時期の早い順です

子どもは今を生きている

－ 幼い難民を考える会十年の歩み展

幼い難民を考える会では9月15日から6日間、熊本市上通り郵便局内コミュニティスタジオで、タイ・カオイダンキャンプと日本における同会の十年の活動を示す写真展を開きます。同じ写真展は八月に東京でも開かれましたが、情報を頂いたのが遅くてこのニュースレターではお知らせできませんでした。

東京YMCA国際理解講座

東京YMCAでは「バングラデシュ協力に向けて」という表題のもとに、9月20日から10月18日までの毎週木曜日、午後六時半から五回にわたって、東京都千代田区美土代町の東京YMCA国際奉仕センターで、国際理解講座を開きます。参加費は七千円。お問い合わせは同YMCAまで。電話03-293-7011。

JVC第三世界理解講座

日本国際ボランティアセンターでは、地球人として生きるって何だ！を表題にした第三世界理解講座を9月21日から11月9日までの毎週金曜日の午後6時30分から、東京都新宿区西早稲田の早稲田奉仕園セミナーハウスで開きます。参加費は資料代込みで一萬五千円。定員五十名。お問い合わせや申し込みは東京都文京区湯島3-1-4 会田ビル 日本国際ボランティアセンターまで。
第4期関西NGO大学第三世界理解講座

関西国際協力協議会では第三世界の人々と私の生き方をテーマとして第四回の第三世界理解講座を、9月22日の週末から来年2月2日の週末まで、毎回一泊二日で、六回に渡って開きます。参加費は宿泊・食事を別にして二万円。定員は四十名。お問い合わせや申し込みは大阪市西区土佐堀1-5-6 大坂YMCA国際文化センター内関西国際協力会まで。電話は06-441-0893。

子ども権利条約国際理解セミナー

日本ユニセフ協会、東京YMCA、アムネスティ日本支部などで構成する実行委員会の主催で「子ども権利条約」国際理解セミナーが9月27日と10月11日の夜および11月10日の午後、東京都新宿区西早稲田の山手YMCAを会場として開かれます。参加費は毎回五百円。問い合わせや申し込みは東京都新宿区西早稲田2-3-22 アムネスティ日本支部まで。電話は03-203-1050。

先進国NGOフォーラム

大坂国際交流センターなどで構成している先進国NGOフォーラム実行委員会が主催する表記のフォーラムが、10月1日から4日まで大阪市天王寺区上本町8-2-6の国際交流センターで開かれます。プログラムには講演、パネル討論、討議などが含まれていますが、問い合わせは国際交流センター内のフォーラム事務局。電話は06-772-6844。
グローバルセミナー神戸

開発教育神戸研究会と神戸YMCA国際文化

センターでは10月20日、12月1日、2月23日の週末に一泊二日で講義と模擬授業からなるセミナーを神戸学生青年センター（阪急六甲駅）で開きます。参加費は宿泊・食事代を別にして八千円。定員二五名。お問い合わせや申し込みは神戸市中央区加納町2-1-15 神戸YMCA国際文化センター。電話は078-241-8801。

アジア・アフリカNGOフェア'90

南北ネットワーク岡山では10月28日（日）の午後、岡山県青年館でインド音楽、シンポジウム、そして岡山の16のNGOが協力するバザールから成るアジア・アフリカNGOフェアを開きます。参加費は七百円。お問い合わせは電話0862-23-1509まで。

英語と日本語によるスピーチコンテスト

神戸YMCAクロスカルチュラルセンターと神戸国際交流協会では11月25日午後に神戸市中央区の西山記念会館でかけがえのない

地球の明日のためにをテーマとする日本語と英語によるバイリンガル・スピーチコンテストを開きます。参加申し込みや問い合わせは神戸市中央区加納町2-1-15 神戸YMCAクロスカルチュラルセンターまで。電話は078-241-8801。

協議会事務局から

★第30回運営会議

6月28日夜に開かれ、新年度の事業計画の実施について協議し、情報センターの運営について意見を交換した。

★第31回運営会議

8月1日夜に開かれ、研究集会準備についての最終打ち合せをした。また情報センターの運営計画についても引続き協議した。

★運営委員が二人増えました。（五十音順）

城島理子（青年海外協力協会・WAの会）

高田幸一（青年海外協力隊）

新人・継続会員（敬称略、1990年6月21日～8月20日）

〈新入会員〉

土定泰子（石川） 奈須野正幸（千葉） 堀口真也（大坂） 川床靖子（東京） 林美栄子（東京） 星野次郎（兵庫） 浅野ゆき（大坂） 末次信行（京都） 鍋倉伸子（静岡） 前川裕子（東京） 成沢真介（岡山） 新倉久乃（千葉） 御園生百恵（神奈川） 篠田正志（東京） 藤村コノエ（神奈川） 広瀬和義（埼玉） 大井智弘（埼玉） 井上裕（神奈川） 金沢晴司（新潟） アムネスティ日本支部（東京） 佐野伸樹（兵庫） 廣藤啓二（京都） 斉藤皓彦（鳥取）

〈継続会員〉

室 靖（東京） 照屋康子（東京） 古屋 泰（神奈川） 曹洞宗ボランティア会（東京） 日本シルバーボランティアズ（東京） 上條直美（神奈川） 熊本YMCA（熊本） 長島京子（神奈川） 名古屋YMCA（愛知） 国際開発センター（東京） 田頭明子（東京） 荒木敏之（京都） 東京YMCA（東京） 関西セミナーハウス（京都） 平田 哲（京都） 瓜谷郁三（愛知） 栗山元一（大坂） 松延政子（千葉） 杉原輝明（京都） 西井和裕（愛知） 高田光治（京都） 富永幸子（埼玉） 小池恵子（兵庫） 大久保静人（神奈川） 協力隊を育てる会（東京） 児玉寛子（東京） 木村啓子（愛媛） 天野 環（東京） 塩山清隆（京都） 奥田昭応（東京） 杉浦豊子（東京） 羽佐田透一（愛知） 吉田晴彦（大坂） 旦 節子（東京） 安藤理恵（神奈川） 前田秀人（東京） 荒井正剛（東京） 西川 潤（東京） 大森直樹（東京） 馬橋憲男（東京） 富 安正（東京） 松木 傑（東京） 高野彰夫（千葉）